

いままで、ぶんぶんまわっていた、ふたりのじょちゅうの、いとまきが、きゅうにあべこべにまわりますと、たいへんです。きんのいとと、ぎんのいとが、するすると、とけてきて、ふたりのじょちゅうのくびに、まきつきました」「おやおや。それからどうした」「ふたりのじょちゅうは、おどろいてたちあがって、その、まきつきたいとをとろうとして、もがきはじめましたが、もがけば、もがくほどいとが、ほどけてきて、てやあしに、からみつきました。それ

で、じょちゅうは、ゆかのうえをころがりまわりましたが、しまいには、きんぎんのいとが、すっかりふたりのじょちゅうにまきついて、にんげんのいとまきのようになって、ただ、うんうん、うなりながら、ゆかのうえを、ころがりまわるばかりでした」「おまえは、それをみていたのか」「ええ。あたしは、わるいことをした。だって、あんなことをいわなければ、ふたりのじょちゅうは、びっくりしなかったでしょう。びっくりしなければ、いとぐるまを、あべ

こべにまわさなかったでしょう。いとぐるまを、あべこべにまわさなければ、きんぎんのいとは、じょちゅうのくびに、まきつかなかったのでしょうか」とひめはいって、もうし